

東通村原子力安全対策委員会が開催されました



会議の風景

3月22日、東通村防災センターにて、東通村原子力発電所安全対策委員会（会長：畑中稔朗村長）が開催されました。

この委員会は、村内の関係機関の長等により構成され、村の原子力発電所に対する対応状況の報告や確認などを行うとともにご意見などを伺い、村として、様々な対応をしていくために設置しているものです。

会議では、村から安全協定や原子力防災の取組などを報告し、委員の方々にご確認いただきました。また、東通原子力発電所の現状について、東北電力㈱及び東京電力ホールディングス㈱から説明がありました。

東北電力1号機は、運転を停止中であり、原子力規制委員会による新規制基準適合性に係る審査が継続中です。東京電力1号機は、本格工事の開始を見合わせており、新規制基準適合性に係る審査に向けて、地質調査や設計検討などが進められています。

原子力防災対策や安全対策について、国・県・事業者においては様々な検討が進められていますが、村としても、村民の安全と安心のため、全力で取り組んで参ります。



東北電力(左)・東京電力HD(右)の説明

川村理孔さん（小田野沢）、令和5年度東通村文化表彰を受賞



受賞された川村さん(右)と畑中村長

3月27日、村は川村理孔さん(東通村小田野沢在住、青森県立むつ工業高等学校教諭)に対し、東通村文化賞を贈りました。

川村さんは、大学院在学中に開催された日本数学教育学会第55回秋期研究大会において、大学院生研究奨励部門の中から特に優秀と認められる3名に選出され、令和5年11月18日～19日に開催された同56回秋期研究大会において、学会賞を受賞するという輝かしい成績を収めました。

本研究大会は、日本数学教育学会が主催し、数学教育の基礎的・科学的研究を推進することを目的に、1966年に東京教育大学(現・筑波大学の前身)を会場として第1回数学教育論文発表会(2013年からは秋期研究大会と名称変更)を開催して以来、数学教育に関する研究のさらなる発展を目指し、毎年開催されているものです。川村さんの今後ますますのご活躍を期待します。

東通の郷土芸能と食を楽しむ会 開催！

3月31日、東北電力あがさいホールで「東通の郷土芸能と食を楽しむ会」が開催されました。会では、入口青年会の「三番」と「トラの口」の2演目が披露され、迫力ある舞に観客は見入っていました。会終了後、チケット購入者には「東通おもてなし弁当」が提供され、お持ち帰りにより、村の食も楽しむことができました。



披露されたトラの口